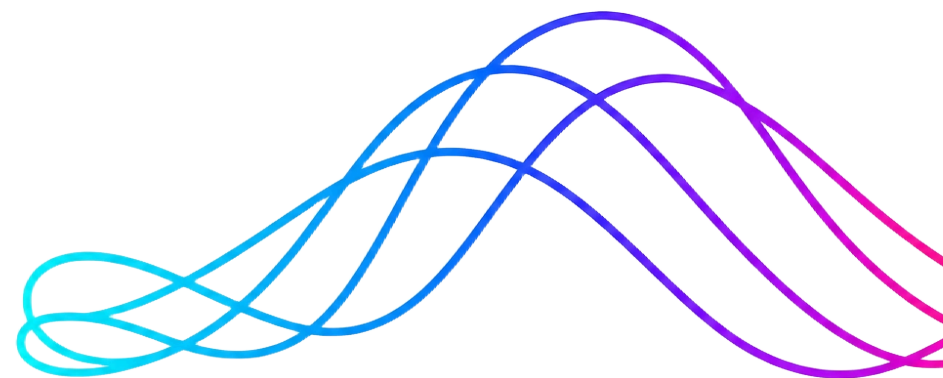


SHANNON LLC | WORDPRESS SECURITY

WordPressセキュリティ強化

サービス資料

WordPress の改ざん・侵入対策を、診断から運用まで。脆弱性スキャン・WAF・ログイン強化・改ざん検知・バックアップ・パッチ運用を、診断 → 強化 → 監視のサイクルで継続的に実施します。



S H A N N O

利用者が多い CMS だからこそ、WordPress は狙われ続けています

WordPress サイトでよくある 6 つの状態。ひとつでも当てはまれば、点検の価値があります。



改ざんの再発が怖い

過去にサイトを改ざんされた経験があり、再発が怖い。侵入経路が特定できていないままでは、同じ手口でまた狙われかねない。



WAF が未導入・初期値のまま

WAF を入れていない、または設定が初期値のまま。何を防げているか分からず、誤検知を恐れてルールも詰められていない。



更新の滞り

プラグイン・テーマの更新が滞っており、脆弱性の把握ができていない。既知の脆弱性が残る期間が長いほど、侵入のリスクは高まる。



毎日のブルートフォース攻撃

管理画面の URL が標準のまま、ブルートフォース攻撃を毎日受けている。パスワードが破られれば、サイト全体の改ざんに直結してしまう。



監査・ISMS 対応

監査・ISMS・取引先要件で WordPress のセキュリティ証跡を求められた。何をどんな粒度で提出すればよいか分からず、対応が止まっている。



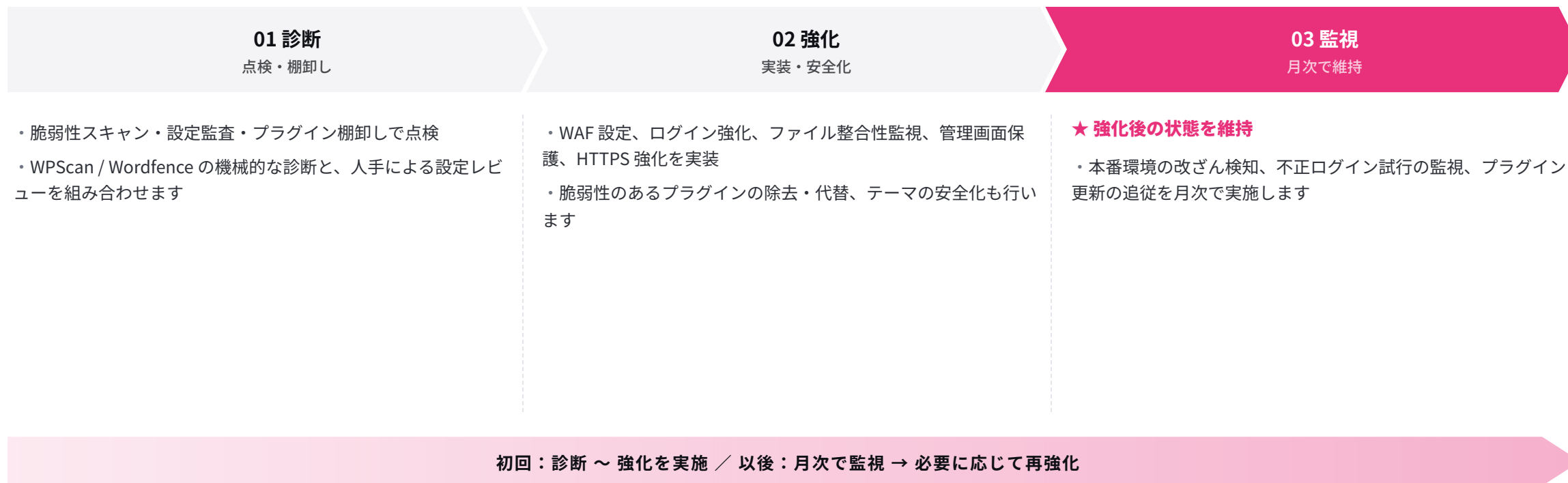
効いているか未確認

無料プラグインを入れてあるが、本当に効いているか確認したことがない。導入しただけで設定を詰めておらず、保護範囲が限定的なままの例も多い。

共通するのは「入っただけ」の状態：無料プラグインの導入だけではカバーしきれない範囲が残ります。次頁から「診断 → 強化 → 監視」のサイクルでどう解消するかをご説明します。

対策は“導入して終わり”にせず、「診断 → 強化 → 監視」のサイクルで維持します

サービス全体像：機械的な診断と人手による設定レビューを組み合わせ、継続的なパッチ運用と監視まで含めて実施します。



運用と両立する強化：「ガチガチにして編集できない」状態にはせず、編集者運用と両立するレベルで強化します。本番反映前に**ステージング環境で全機能の動作確認**を行い、サイト停止リスクを最小化します。

※ WPSan=WordPress 向けの脆弱性スキャナ。Wordfence=WordPress 用セキュリティプラグイン。ツールの機械診断に、人手の設定レビューを重ねて精度を担保します。

対応範囲①

まず“入口”を塞ぎます

攻撃を受けにくくする 4 メニュー（診断・本体強化・ログイン保護・WAF）。サイトの状態と要件に応じて、必要な範囲だけ実施します。



セキュリティ診断レポート

01 DIAGNOSE

- WPScan による既知脆弱性検出
- プラグイン・テーマの棚卸し
- 管理画面・ログイン保護の点検
- WAF 設定状況の確認
- SSL / TLS 設定の点検
- 診断レポート PDF の納品



本体・設定強化

02 HARDENING

- wp-config.php / .htaccess の設定
- ファイル編集禁止設定
- 不要な REST API エンドポイント遮断
- XML-RPC アクセスの制限
- バージョン情報の隠蔽
- HTTPS 強制・HSTS 設定



ログイン・管理画面保護

03 LOGIN

- 管理画面 URL のカスタム化
- 多要素認証（TOTP / WebAuthn）
- 接続元 IP アドレス制限
- ログイン試行回数制限
- reCAPTCHA / hCaptcha 導入
- 管理画面の監査ログ記録
- 編集者向けの操作説明を実施



WAF 設計・導入

04 WAF

- Cloudflare WAF 設計
- AWS WAF のルール設計
- SiteGuard / WP-Cerber 設定
- カスタムルールの追加
- 誤検知の抑制チューニング
- 攻撃検知時のアラート設計
- サーバー構成に合わせた製品選定

※ WAF は Cloudflare WAF / AWS WAF / SiteGuard / WP-Cerber などからサーバー構成に合わせて選定し、ルール調整・誤検知抑制まで含めて実運用に耐える状態にします。

対応範囲②

“検知して復元できる”状態まで担保します

突破された場合に備える 4 メニュー（改ざん検知・バックアップ・パッチ運用・復旧支援）。すでに侵入を受けたサイトの調査・復旧にも対応します。



改ざん検知・監査ログ

05 DETECT

- ・ファイル整合性監視
- ・不正ファイル混入の検知
- ・管理画面操作ログ
- ・失敗ログイン試行ログ
- ・変更通知（Slack / メール）
- ・監査用エクスポート
- ・内部統制・監査対応への備え



バックアップ・復旧設計

06 BACKUP

- ・日次バックアップ（DB + ファイル）
- ・遠隔保管（S3 + 別リージョン）
- ・バージョン保持（30 日 / 90 日）
- ・復元演習の実施・確認
- ・RTO / RPO 目標値の合意
- ・復旧手順書の作成



継続的なパッチ運用

07 PATCH

- ・WordPress 本体パッチ
- ・プラグイン更新（検証後反映）
- ・テーマ更新（検証後反映）
- ・緊急パッチの即時対応
- ・検証環境での事前確認
- ・切り戻し手順の事前準備
- ・月次レポートの共有



侵入・改ざん時の復旧支援

08 RECOVER

- ・侵入経路・原因の特定
- ・マルウェア・バックドアの除去
- ・クリーンな状態への復元
- ・パスワード一括変更
- ・再発防止のセキュリティ強化
- ・関係各所への報告書作成支援

※ バックアップは“取得できていること”ではなく“復元できること”を確認した状態にします（復元演習の実施・RTO / RPO の合意）。

無料プラグインだけ・製品単体だけでは届かない範囲を、サイクルでカバーします

主要 3 方式の比較 — WordPress 特有リスク・検知・継続運用・復旧の 4 軸で整理しました。

	SHANNON 診断 → 強化 → 監視	無料プラグインで対策	セキュリティ製品単体導入
WordPress 特有のリスク対応	◎ 特有リスクに対応	△ 初期設定のままで保護範囲が限定的	× WordPress 特有の対策は不在
WAF・改ざん検知	◎ 改ざん検知 + WAF	× WAF・改ざん検知は不在	△ 製品の「型通り」の対策のみ
継続運用（パッチ・監視）	◎ 月次パッチ運用	× 緊急パッチへの追従が遅れる	△ 運用は社内で続ける必要
侵入時の復旧支援	◎ 復旧支援も対応	×	× 対象外
監査・ISMS 向けの証跡	◎ 提出できる粒度で納品	×	△ 製品ログの範囲のみ

※ ◎＝標準対応 △＝限定的 ×＝対象外。「導入しただけで設定を詰めていない」無料プラグイン運用に多い状態を含め、運用と両立する強化レベルで整えます。

差がつくのは「継続」と「復旧」：導入時点の強度よりも、パッチ追従と侵入時に戻せる体制が明暗を分けます。次頁で実施時のお約束をご説明します。

“壊さない・止めない”を前提に、監査対応・復旧要件までお応えします

実施にあたっての3つのお約束と、よくいただくご質問。復旧・監査・運用の観点でお答えします。

① 運用と両立する強化	② 本番反映前に検証	③ 侵入時の復旧も対応
「ガチガチにして編集できない」状態にはせず、編集者運用と両立するレベルで強化します。導入時には編集者向けの操作説明も実施します。	ステージング環境で全機能の動作確認を行ってから本番反映。バックアップ取得のうえ段階的に適用し、サイト停止リスクを最小化します。	強化後の継続運用に加え、すでに改ざん・侵入を受けたサイトの調査・復旧にも対応します。原因特定から再発防止までセットで担当します。

ご質問		回答
復旧	改ざん済みサイトの復旧もできる？	対応します。侵入経路の特定 → マルウェア除去 → クリーン状態への復元 → 再発防止まで通しで担当。緊急性が高い場合は営業日内で最短着手します。
	監査	監査・ISMSの証跡として使える？
運用	編集者の運用が変わってしまう？	診断レポート・運用手順書・改ざん検知ログ・パッチ適用記録を、監査時に提出できる粒度で納品します。要件があれば事前にすり合わせます。
	サイト停止・データ消失のリスクは？	基本的には変わりません。多要素認証やIP制限は編集者にも影響するため、導入時に操作説明を実施します。
		本番反映はバックアップ取得のうえ段階的に適用し、問題発生時の切り戻し手順も事前に準備します。

※ 夜間・休日のオンコール対応は行っていません。マルチサイト構成は権限・テーマ共有・プラグイン管理の制約を踏まえて設計します。



診断のみで止める判断もできる、5ステップで進めます

無料相談から監視・運用まで。強化は**合意した範囲のみ実施**します。

01



無料相談

サイト URL と現状のセキュリティ対策を伺います（30分）。

02



セキュリティ診断

WPScan / 設定監査 / プラグイン棚卸しでリスクを书面化。

03



提案・見積

強化メニューの優先度・所要期間を书面で。

04



強化実装

合意した範囲のみ実施。本番反映前にステージングで検証します。

05



監視・運用

改ざん検知・パッチ運用を月次で継続。月次レポートを共有します。

無料相談 → 診断 → 強化 → 監視・運用（月次サイクルへ）

セキュリティパッチは即時、機能アップデートは検証後に反映：WordPress 本体・プラグイン・テーマの更新を月次で計画的に実施し、強化後の状態を維持します。

※ ステップ2の診断は、リスクを书面化した時点で一区切りです。強化に進むかは診断結果を見てご判断いただけます。

案件規模に応じて、3つの対応形態から選べます

診断のみの単発から、継続的なセキュリティ運用まで。診断結果を見てから、進む範囲をご判断いただけます。



DIAGNOSE | セキュリティ診断のみ

WPScan + 設定監査

プラグイン・テーマの棚卸し

管理画面・ログイン保護の点検

WAF・SSL / TLS 設定の点検

リスク優先度レポート

診断のみで終了する選択肢

レポート PDF 納品

向いているケース：監査・ISMS・取引先要件でセキュリティ証跡を求められている

RECOMMENDED



HARDEN | 診断 + 強化実装

WAF・ログイン強化・改ざん検知

管理画面保護・HTTPS 強化

ファイル整合性監視の導入

脆弱性プラグインの除去・代替

本番反映前のステージング検証

バックアップ取得の上で段階適用

運用ドキュメント納品

診断結果に応じた範囲調整

向いているケース：WAF が未導入・設定が初期値のまま／過去に改ざんを受けたことがある



CONTINUOUS | 継続的なセキュリティ運用

改ざん検知・侵入監視

不正ログイン試行の監視

月次パッチ運用

緊急パッチの即時対応

プラグイン更新の追従

強化後の状態の維持運用

月次レポートの共有

対応範囲は契約書面で個別合意

向いているケース：プラグイン・テーマの更新が滞りがちで、脆弱性の把握ができていない

※ 料金は要件確定後に書面でご提示します。本パッケージは WordPress 特化です。PowerCMS / Movable Type / Drupal などは「インフラ構築・運用」のセキュリティ強化で対応します。

会社概要

社名	シャノン合同会社（SHANNON LIMITED LIABILITY COMPANY）
代表者	三浦 昌大（Masahiro Miura）
設立	2026年4月 （決算月：3月）
拠点	東京都豊島区池袋2丁目17-8 ／ 千葉県柏市若柴178-4 ／ 北海道札幌市中央区北二条東3丁目2番2号マルタビル8階
資本金	9,900,000円
取引銀行	三菱UFJ銀行 柏支店
事業内容	プロダクト開発・運営 ／ インフラ構築・運用 ／ エンジニアリングエージェンシー
パートナー	Xserverビジネスパートナー ／ Microsoft Cloud Partner Program
連絡先	電話 050-1794-9651 ／ contact@shannon.co.jp ／ https://shannon.co.jp

WordPress の運用は、周辺サービスとあわせてご相談いただけます。速度改善・死活監視・インフラ構築・運用など、サイト運用に関わる領域を同じ体制で対応します。窓口が一本化でき、施策間の整合も取りやすくなります。



E.O.F

